

長野県革新懇ニュース

2019 年 6 月号
発行日 6 月 10 日
会 費 2,000 円
購読料 3,000 円 (送料込)
振 替 0510-3-15971

241

発 行 日本と信州の明日をひらく県民懇話会
(長野県革新懇) 発行人：山口光昭 編集長：高村裕
〒380-8790 長野市県町 593 高校教育会館内
TEL：026-234-1231 FAX：026-234-2219 メール：mail@nagano-kakushinkon.com

==== 今号の主な記事 =====

- 1 面 小林七味さんインタビュー
- 2 面 1 面続き、近現代信州の歴史回廊
- 3 面 アベ政治にさよならを！
読者の声 各種案内
- 4 面 『『令和』集団催眠』 窪島誠一郎さん
映画評論『記者たち』 内山到さん
漢字パズル

長野県革新懇

検 索



1998 年、富士見町生まれ。信州大学人文学部 3 年生。東洋史ゼミと日本近現代史ゼミに参加。将来はジャーナリストを志望。

人と人のつながりが 日韓の架け橋になる

こばやし な な み さん
小林 七味 さん

(大学 3 年生)

徴用工問題について 韓国で発表

Q 韓国での合同合宿ゼミで、徴用工問題について発表されたことですが、その内容をお聞かせください。

信大人文学部の大串潤児教授と韓国の光云大学の金廣烈先生が毎年二つの大学の合同ゼミを開催して下さっています。ある年に信大生が韓国へ行ったら翌年は光云大学の学生が信大に来てゼミを行うという相互交流を続けているものです。今年の3月にその合同ゼミが韓国であり、信大からは私を含め、3人が報告しました。テーマは自由に決めているとのことでしたので、私は「徴用工問題と現代日本社会」と題して報告しました。その理由は、当時は徴用

工の問題が盛んに報じられていて、外交面で日韓関係が悪化していた時だったので、韓国の学生の前で日本人の私が考えている徴用工問題を発表したらどんな意見が聞けるかと思ったからです。報告の発表時間は20分程度しかなかったのですが、どこまで内容を詰めるかと、とても悩んだんですが、とりあえずは辞典とか教科書に載っている朝鮮人強制連行というのが、日本ではどういう認識なのかということとを調べてまとめました。その上で発表では、私が日本の政府の対応について問題だと思っている点を述べて、その後松本の強制連行調査団の活動や松代大本営の保存運動を紹介しました。

一刻も早い解決が 求められている

Q 徴用工問題についてはどんな角度から扱ったのですか？

私が問題だと思っているのは、日本政府が日韓請求権協定で解決済みであるという一点張り、それ以上話はずしませんとする姿勢をとっていることです。日韓請求権協定が結ばれた当時というのは、朴正熙大統領の独裁政権下にあって、補償を求めている元徴用工の方々の声がかき消されてしまい、補償を含めたはずのお金が、韓国の経済復興のために投入されてしまったという現実があったわけですね。そのことを考えると、日韓請求権協定の一点張りでは無理があるんじゃないかというように思います。

また、被害者の方々の心の問題だと思うんですが、心の傷というのはお金とか時間で決して解決するものではないと思います。お金を払って謝罪をして解決を図ってきた歴史もたくさんありますが、徴用工問題については原因究明や補償というのがまだまだされていないので、しっかりと調査して対応していくという姿勢が日本政府にはもっとあるべきだと思います。

韓国側の対応についてですが、文在寅大統領は大法院が出した判決に対してとりたてて声明を出してはいません。その点では、三権分立ができている面もありますが、一方で、韓国側にも日本の政府と話し合う姿勢をとってもらいたいという思いもあります。

ただ徴用工訴訟の原告の方々は、企業と被害者の賠償請求問題で話を済ませたい、日本政府に外交問題にしてほしくないという考えもあるようです。外交問題にしてしま

うと、日韓請求権協定が持ち出されてうやむやになってしまふとか、話し合いに時間がかかりすぎてしまう恐れがあるわけですね。被害者の方々が高齢なので、どんどん亡くなっているという現実があることをしっかりと踏まえることが大切だと思います。

韓国の学生から 次々に鋭い質問

Q 韓国の学生の反応はどのようなものでしたか？

つぎのような鋭い質問が寄せられました。①徴用工について日本政府の公式見解では

「旧朝鮮半島出身労働者」という言葉を使っており強制という言葉を意図的に避けていることについて、日本政府は東南アジアの国々や中国の場合についてはどう認識しているのか、②私の発表の中で、私が戦争における被害は認識していても、加害は認識していませんでしたことについて、日本の多くの学生もそうなのか。そうだとしたら、それはなぜか、③韓国では安倍首相が自分の人気を得るために、わざと日韓関係を悪化させているのではないかという認識があるが、日本にもそのような認識はあるかというものでした。

①については正直ドキリとしました。朝鮮半島以外のかつて日本の植民地下にあった国々や、日本の侵略を受けた国についての質問が出るとは思っていませんでした。私は「朝鮮の植民地時代」ばかりを見ていましたが、その質問をされた韓国の学生は、日本が行った全ての行為を一連のものとして見ているのだとわかり、全体的に俯瞰する見方が私には足りなかったと感じました。②の質問では私を含む日本の大学生が、植民地に関してどのくらい教育を受けてきたかが問われたものだったと思います。植民地時代に関して十分な教育を受けたとはとても言えないと思いました。③の質問は、日本の総理大臣が韓国の学生の目にどう写っているのかわかるものだったと思います。

質問に対する私の回答に、韓国の学生は真剣に耳を傾けてくださいました。この合同ゼミで日本の学生と韓国の学生が共に、そして真剣に徴用

工問題を共有することができたということは、人と人の繋がりこそが、これから日韓両国で暮らす人々の関係をより良いものにしていくに違いないという希望をくれました。今回の合同ゼミでは、日韓関係史を研究していく上で最も基本的で大切な姿勢を学ぶことができました。

衝撃を受けた 高校の歴史授業

Q どうして近現代史に関心を持つようになったんですか？

小さい頃からテレビとかで戦争の特集とかを見ていてとても怖いと思っていて、戦争のことをもっと知りたいと思っていました。高校生の時に日本史の先生がたまたま先生個人の判断で植民地時代を詳しく扱って下さいました。私はそれまで戦争で日本は常に被害者だったと思っていましたが、外国に行つて現地の人たちに酷いことをしていたことをその時に初めて知って大変な衝撃を受け、大学で詳しく勉強しようと思ったんです。

大学に入った際に分野を選択するにあたり、東洋史と日本近現代史の両方が植民地時代にまたがっているのでもちろん選ぶか迷ったんですけど、植民地時代については、日本近現代史で扱われる方が多いんですね。ただ大学のシステムで卒業論文を書くにあたって、東洋史は外国の史料を使って論文を書くということになっているものですか、向こうの言葉を使って向

【2面に続く】